

# 辺野古新基地建設やめろ！ 国連は沖縄差別懸念の書簡！

## 国連人権差別撤廃委員会が日本政府の見解を求める書簡

3月14日、国連の人種差別撤廃委員会は、沖縄県民の人権の扱いをめぐる懸念を表明、沖縄県の普天間基地の「県内移設」＝辺野古新基地建設計画、東村高江のヘリパッド建設などについて説明を求める書簡を日本政府宛に届けました。7月末を日本政府の回答期限とし、人種差別撤廃条約の順守状況を監視する次回8月の会合で審議を行うということです。審議の結果によって是正勧告が出される可能性もあります。

同書簡は、辺野古新基地建設について「琉球民族および沖縄在住の他の日本人が地域環境と生活状況に重大な影響を与えるとして大規模な反対および非難を行っているにもかかわらず、普天間飛行場の辺野古移設が提案されていることを懸念している」と指摘、東村高江でのヘリパッド建設についても「高江住民および沖縄の地方議員が継続的に反対している」と指摘して、人権侵害の懸念を表明しています。

日本政府は、深刻に反省して沖縄県民への人権侵害をすぐにやめるべきです。

## 政府は沖縄県民を馬鹿にするのはいい加減にしろ！

国連の人種差別撤廃委員会による日本政府への指摘は今回に始まったことではありません。2010年にも「沖縄における軍事基地の不均衡な集中」が指摘されています。

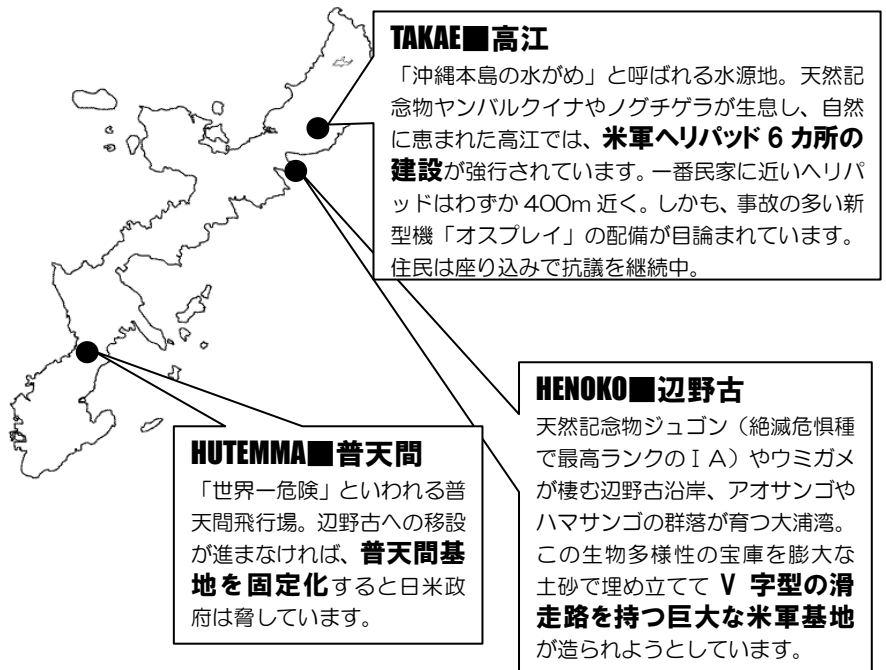
日本政府は、この国連の指摘に対して、沖縄県民差別を否定し、辺野古新基地建設が最善策なのだと回答する方針ということです。しかも、「沖縄県民は日本民族だ」と説明して人種差別には当たらないと主張するのだといいます。琉球民族や文化を否定して抹殺しようというのでしょうか？本土と同じ「日本民族」だと説明したとして、沖縄に押し付けられている負担・不均衡が正当化できるのでしょうか？

## 普天間基地の即刻閉鎖！

## 辺野古新基地建設を撤回！

## 高江ヘリパッド建設撤回！を

日本政府は、沖縄差別が存在しないというのであれば、世界一危険な基地である普天間基地の閉鎖・返還を即刻実現するべきです。米国に無条件返還を迫るべきです。新基地建設は撤回するべきです。高江ヘリパッドの建設を即時中止するべきです。(2012. 3. 18)



月刊へのこじつ通信より

# 返還されるはずの普天間を補修？ 普天間は即刻閉鎖を！

## 普天間補修費、日本が負担？

玄葉外相は、3月7日の衆院沖縄・北方特別委員会で、米軍普天間基地について、「必要な補修は行わなければならない」との認識を示し、日米いずれが費用負担するかの基準について「個別にその時々で判断している」と発言しました。これまで、滑走路の補修事業は米国の予算で行われてきたものです。事実上、日本側で普天間飛行場の補修費を負担するのを受入れる方向であるということです。

辺野古新基地建設が困難となると、今度は、普天間の固定化と、そのための費用負担に応じるとは言語道断です。世界一危険な普天間基地の危険性の除去＝普天間閉鎖こそが日本政府の課題です。普天間補修のために金を出すのはやめさせましょう！

## 返還されるはずの普天間に、オスプレイ配備！

米海兵隊は、今年10月には、普天間基地にMV 22 オスプレイと呼ばれる、垂直離着陸輸送機を配備する計画です。この“オスプレイ”は、開発段階で何度も墜落事故・死亡事故を繰り返した、大変危険で巨大な輸送機です。世界一危険な普天間に、危険なオスプレイを持ってくるとは、沖縄県民をどこまで馬鹿にしているのでしょうか。普天間は返還されるのではないのでしょうか？

沖縄県民にとって、普天間基地傍の沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事件の記憶がまだ生々しいなかで、絶対に許されることではありません。

## 普天間は即時閉鎖！オスプレイの配備反対！

オスプレイ配備に、沖縄県、普天間基地のある宜野湾市は、激しく反発しています。「基地の固定化を許さないと求めているにもかかわらず、新しい機種が来ることは認められない」と、6月に、反オスプレイの市民大会が計画・準備されています。

政府は、そんな沖縄の反発をかわすために、普天間配備に先立つ7～10月の間に、一度、岩国の米軍基地に配備し、試験飛行により安全性を強調した上で、普天間飛行場に本格配備

できないか米側に打診しました。何とも姑息なやり方です。当然、山口県、岩国市ともに反発の声を上げています。全国から、普天間即時閉鎖！オスプレイ配備反対！の声を上げていきましょう！

(2012. 3. 18)



MV 22 オスプレイ